(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2009 年7 月23 日 (23.07.2009)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2009/090918 A1

(51) 国際特許分類:
B65D 85/10 (2006.01) *B65D 5/49* (2006.01)
A24F 15/00 (2006.01) *B65D 25/04* (2006.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2009/050220

(22) 国際出願日: 2009 年1 月9 日 (09.01.2009)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願2008-009199 2008 年1 月18 日 (18.01.2008) JP

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本たばこ産業株式会社 (JAPAN TOBACCO INC.) [JP/JP]; 〒1058422 東京都港区虎ノ門二丁目２番１号 Tokyo (JP).

(72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 中野圭子 (NAKANO, Keiko) [JP/JP]; 〒1058422 東京都港区虎ノ門二丁目２番１号 日本たばこ産業株式会社内 Tokyo (JP). 宮沢晃 (MIYAZAWA, Akira) [JP/JP]; 〒1058422 東京都港区虎ノ門二丁目２番１号 株式会社ＪＴデザインセンター内 Tokyo (JP).

(74) 代理人: 長門侃二 (NAGATO, Kanji); 〒1050004 東京都港区新橋５丁目８番１号 百楽ビル５階 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

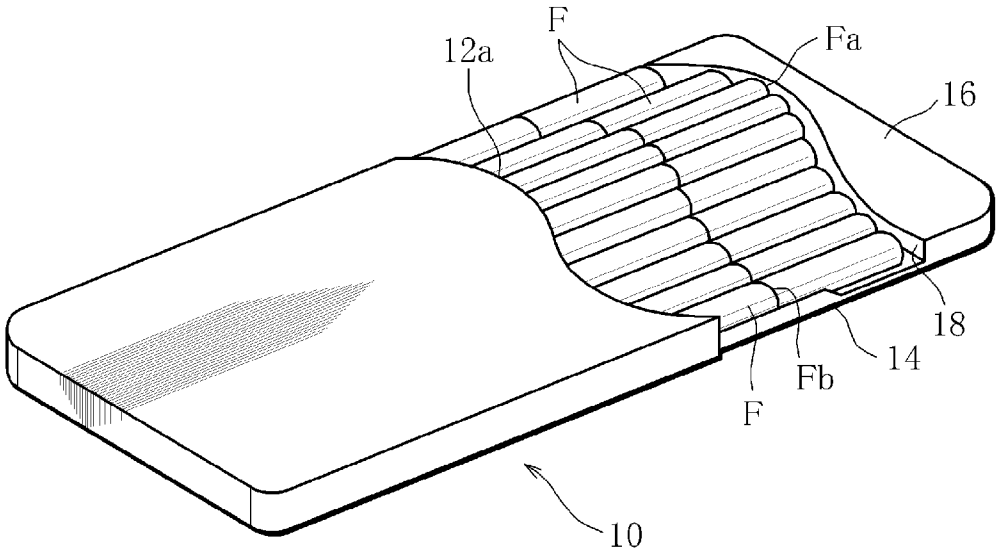
(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD,

[続葉有]

(54) **Title:** CIGARETTE PACKAGE

(54) 発明の名称: シガレットパッケージ

[図2]



(57) **Abstract:** A cigarette package comprises a thin outer case (10) and an inner tray (14) drawably housed in the outer case (10). The inner tray (14) has a head (16) which functions as a tab for drawing the inner tray (14) from the outer case (10) and a plurality of grooves (22) which hold a plurality of filter cigarettes (F) along the drawing direction of the inner tray (14).

[続葉有]

WO 2009/090918 A1

SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

(57) 要約: 本発明のシガレットパッケージは、薄形の外側ケース（１０）と、外側ケース（１０）内に引き出し可能に収納された内側トレイ（１４）と含み、内側トレイ（１４）は、内側トレイ（１４）を外側ケース（１０）から引き出すための摘みとして機能するヘッド（１６）と、複数のフィルタシガレット（Ｆ）を内側トレイ（１４）の引出し方向に沿って保持する複数の溝（２２）とを有する。

明 細 書

シガレットパッケージ

技術分野

[0001] 本発明は、フィルタシガレットやシガレット等の棒形状のシガレット製品を収納するためのシガレットパッケージに関する。

背景技術

[0002] この種のシガレットパッケージにはヒンジリッド型パッケージが多用されている。このヒンジリッド型パッケージは開閉可能なヒンジリッドを有する。ヒンジリッドが開かれたとき、消費者はパッケージ内からシガレット製品を取り出すことができる(例えば、特許文献1)。

特許文献1:特開平5-213340号公報

発明の開示

発明が解決しようとする課題

[0003] 上述のヒンジリッド型パッケージは長年に亘って使用されている。それ故、消費者はパッケージの形態に倦怠感を抱いている。このため、消費者の購買意欲を増進させる一方、省資源化にも好適した新規な形態のシガレットパッケージの開発が望まれている。

[0004] 本発明の目的は、消費者の購買意欲を高め、且つ、シガレット製品の詰め替えをなすことで、パッケージの再使用が可能となる新規な形態のシガレットパッケージを提供することにある。

課題を解決するための手段

[0005] 上記の目的を達成するため、本発明のシガレットパッケージは、薄形の直方体形状をなす外側ケースであって、一端に開口を有する、外側ケースと、この外側ケース内に開口を通じて引き出し可能に収容され、収容位置及び引き出し位置を有する矩形の内側トレイとを備える。内側トレイは更に、その一端に形成され、収容位置にあるときには開口から突出し且つ内側トレイを引き出すための摘みとして機能するヘッドと、収容位置にあるとき、外側ケース内に位置付けられるトレイ面と、トレイ面に形成され

、棒形状のシガレット製品を保持する複数の保持座とを有する。

[0006] 上述のシガレットパッケージによれば、消費者は内側トレイのヘッドを指で挟み付け、外側ケースから内側トレイを引き出すことができる。このような内側トレイの引き出しは、内側トレイのトレイ面、即ち、シガレット製品を外側ケースから露出させ、内側トレイの保持座からシガレット製品の取り出しを可能にする。

[0007] 内側トレイ上の全てのシガレット製品が取り出された後、消費者は内側トレイの保持座に新たなシガレット製品を補給し、シガレットパッケージを再使用することができる。

[0008] 好ましくは、保持座は、シガレット製品を内側トレイの引き出し方向に沿って保持可能であり、内側トレイの幅方向に並んで配置されている。具体的には、保持座は、シガレット製品を個々に受け入れ可能な溝である。

[0009] 上述した保持座、即ち、溝は、シガレット製品を個々に保持しているので、内側トレイからシガレット製品が取り出されても、内側トレイ上に残るシガレット製品の配列が乱れることはない。

[0010] 好ましくは、外側ケースの前記開口は、波形形状をなした前縁を有し、内側トレイのヘッドは、前縁の波形形状と同様な波形形状の天井面を有する。この場合、内側トレイは、トレイ面上のシガレット製品を前縁の波形形状に沿って波打つように配列させる配列手段を更に含むことができる。

[0011] このようなシガレットパッケージによれば、外側ケースから内側トレイが引き出されたとき、外側ケースにおける開口の前縁の波形形状に加えて、ヘッドにおける天井面の波形形状や、内側トレイ上におけるシガレット製品の配列、即ち、ウエーブ配列が外側ケースから露出し、これらの波形形状及びウエーブ配列は、美観的に優れたシガレットパッケージの開形態を提供する。それ故、消費者は本発明のシガレットパッケージの開形態に感銘を受け、シガレットパッケージに対する消費者の購買意欲を増進させることができる。

[0012] 具体的には、配列手段は、内側トレイの他端に形成されたテールを更に含み、このテールはヘッドの天井面に対向し且つ天井面と同様な波形形状をなす底面を有し、トレイ上のフィルタシガレットは天井面と底面との間に挟み込まれている。好ましくは、天井面は円滑な波形形状を有し、記底面は数の段から形成された波形形状を有す

る。

[0013] 内側レイは合成樹脂から形成され、保持座とヘッドとの間のトレイ面に弾性変形可能な領域を更に含んでいる。この領域はその弾性変形によりヘッドの押し下げを許容する。このようなヘッドの押し下げは、シガレット製品が内側レイの天井面と底面との間に挟み込まれていても、ヘッドの存在に拘わりなく、内側トレイからのシガレット製品の取り出しを容易にする。

[0014] 更に、内側トレイはその引き出し位置を決定するストッパを更に含むことができる。このようなストッパは、外側ケースからの内側トレイの抜け出しを阻止する。

発明の効果

[0015] 本発明のシガレットパッケージは、通常のヒンジリッド形パッケージの開形態とは大きく異なる開形態を提供することから、消費者の購買意欲を増進させる。また、本発明のシガレットパッケージは再使用が可能であり、省資源化にも大きく寄与する。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]一実施例のシガレットパッケージを閉状態で示す斜視図である。

[図2]図1のシガレットパッケージの開状態で示す斜視図である。

[図3]図2の内側レイの平面図である。

[図4]図3の内側トレイの側面図である。

[図5]内側トレイのヘッドを示した断面図である。

[図6]内側トレイのテールを示した断面図である。

[図7]内側トレイの溝を示した断面図である。

[図8]内側トレイのヘッドが下方に押し下げられた状態を示す図である。

[図9]図1，2の外側ケースを形成するためのブランクを示した図である。

符号の説明

[0017]

10	外側ケース
12	開口
12a	前縁
14	内側トレイ
14a	トレイ面

15 領域

16 ヘッド

18 天井面

19 テール

20 底面

22 溝(保持座)

26 フラップ

48 フラップ

発明を実施するための最良の形態

[0018] 図1及び図2は一実施例のシガレットパッケージを示す。

シガレットパッケージは外側ケース10を備え、この外側ケース10は紙又は合成樹脂からなる。外側ケース10は薄い直方体形状をなし、その長手方向に互いに離れた一端及び他端を有する。外側ケース10の一端は開口12として形成され、外側ケース10の他端は左右にラウンドコーナ(丸みが付けられた隅)をそれぞれ有する。

[0019] 具体的には、開口12は前縁12a、左右の側縁及び後縁によって規定されており、前縁12aは円滑な波形形状、即ち、正弦曲線に近似した形状をなし、山部及び谷部を1つずつ有する。

[0020] 外側ケース10内には矩形の内側トレイ14が引き出し可能に収納されている。図1に示されているように内側トレイ14が収容されても、内側トレイ14はその一端に外側ケース10の開口12から突出したヘッド16を有する。このヘッド16は外側ケース10の開口12を閉じる蓋及び外側ケース10から内側トレイ14を引き出すための摘みとして機能する。

[0021] 図2から明らかなように、内側トレイ14上には例えば10本のフィルタシガレット(シガレット製品)Fが載置されている。個々のフィルタシガレットFは、吸口端Fa及びチップペーパとシガレットとの間の境界Fbをそれぞれ有する。なお、チップペーパはシガレット及びフィルタプラグを互いに接続する接続要素である。

[0022] 内側トレイ14上のフィルタシガレットFは、内側トレイ14の幅方向に並び、且つ、前述した前縁12aの波形形状に沿って波打つように配置されている。即ち、内側トレイ1

4上のフィルタシガレットFの吸口端Fa及び境界Fbは、前縁12aの波形形状に沿う波形曲線上に位置付けられている。

[0023] 上述したフィルタシガレットFの配列を実現するために、内側トレイ14はその他端に、ヘッド16と協働してフィルタシガレットを挟み込むテール19(図3参照)を有する。より詳しくは、ヘッド16は外側ケース10内に面した天井面18を有しており、この天井面18は、前縁12aと同様な波形形状をなしている。それ故、図1に示されるように外側ケース10内に内側トレイ14が収容されたとき、ヘッド16はその天井面18が外側ケース10内に位置した状態で、外側ケース10の開口12から突出する。

[0024] 図3に示されるように、内側トレイ14のテール19は、天井面18に対向した底面20を有し、この底面20は、前縁12a及び天井面19の波形形状に類似した波形形状をなしている。具体的には、底面20は、前縁12a及び天井面18とは異なり円滑ではなく、多数の段を有し、これら段が波形形状を形作るように配置されている。

[0025] 更に、内側トレイ14は、ヘッド16とテール19との間にフィルタシガレットFのためのトレイ面14aを有し、トレイ面14aは10個の溝22によって形成されている。これら溝22は底面20から天井面18に向けて、内側トレイ14の長手方向、即ち、外側ケース10からの内側トレイ14の引き出し方向に沿って延びている。

[0026] より詳しくは、図3から明らかなように、溝22は内側トレイ14の幅方向に互いに隣接し、フィルタシガレットFを個々に受け入れる保持座を形成する。各溝22の長さは、フィルタシガレットFの長さよりも短く、トレイ面14aは溝22と天井面18との間に平坦な領域15を有する。

[0027] 上述した内側トレイ14は合成樹脂材料を型成形することにより得られる。より詳しくは、内側トレイ14はその両端に中空の膨出部16a, 19aをそれぞれ有し、これら膨出部16a, 19aは内側トレイ14の下面にて開口している。膨出部16aは前述したヘッド16を形成し、膨出部19aは前述したテール19を形成する。これら膨出部16a, 19aはシート部21を介して互いに接続されており、このシート部21はその上面に前述した溝22を有する。

[0028] 図4に示されるように、膨出部16aは天井面18を形成する内端壁と、この内端壁に沿う外側端壁17を有する。この外側端壁17の下縁からはフラップ24が一体的に延

びている。このフラップ24はシート部21に向けて折り曲げられ、図5から明らかなようにシート部21の下面に重ね合わされている。これらシート部21及びフラップ24は互いに接着され、膨出部16aの開口を覆っている。フラップ24は中空の膨出部16a、即ち、ヘッド16の剛性を高めるための補強部材として機能する。

[0029] 一方、図6から明らかなように膨出部19bもまた、底面20を形成する内端壁と、この内端壁に沿う外端壁23を有する。この端壁23の下縁からはフラップ26が一体的に延びている。このフラップ26もまた、フラップ24と同様にシート部21に向けて折り曲げられている。フラップ26はフラップ24とは異なり、シート部21に接着されていない。それ故、フラップ26が自由状態にあるとき、フラップ26はシート部21の下面から離れている。しかしながら、外側ケース10内に内側トレイ14が収容されたとき、フラップ26はその弾性変形を伴い、外側ケース10の内面と内側トレイ14の下面との間に挟み込まれ、この際、膨出部19bの開口はフラップ26により覆われる。

[0030] 更に、図7に示されるように、溝22は平坦な底22aと、左右の側壁22bとから形成され、これら側壁22bは互いに逆向きに傾斜している。このような溝22の配列は、シート部21の剛性を高める。しかしながら、シート部21の平坦な領域15には溝22が存在していないので、領域15は弾性変形可能である。それ故、図8に示されるように領域15はその弾性変形により、内側トレイ14のトレイ面14aに対して交差する方向に反り返ることができ、これにより、ヘッド16は図8でみて下方に押し下げ可能である。

[0031] 図9は、前述した外側ケース10を形成するためのブランクを示す。

このブランクは、リアパネル28、サイドパネル30及びフロントパネル32を有し、リアパネル28及びフロントパネル32はサイドパネル30の両側にそれぞれ折込み線を介して接続されている。リアパネル28，サイドパネル39及びフロントパネル32は外側ケース10の後壁、一方の側壁及び前壁をそれぞれ形成する。

[0032] 図9でみて、フロントパネル32の上縁は波形形状を有し、外側ケース10の前縁12aを形成する。また、フロントパネル32の下縁、リアパネル28の上縁及び下縁はその両端がそれぞれ円弧形状に形成されている。

[0033] リアパネル28及びフロントパネル32の外側縁には、インナサイドフラップ34及びアウタサイドフラップ36がそれぞれ折込み線を介して接続されている。これらサイドフラ

ップ34，36は、外側ケース10の他方の側壁を形成する。また、図9でみて、リアパネル28及びフロントパネル32の下縁にはインナボトムフラップ40及びアウタボトムフラップ42がそれぞれ折込み線を介して接続され、これらボトムフラップ40，42は外側ケース10の底壁を形成する。サイドパネル30及びアウタサイドフラップ36の下縁からはストリップ44，46がそれぞれ延びており、これらストリップ44，46は外側ケース10における底壁の両端を前述したラウンドコーナに形成する。更に、リアパネル28の上縁には折込み線を介してフラップ48が接続されている。なお、図9中、前述した折込み線は1点鎖線で示されている。

[0034] 次に、前述したブランクの折込み手順について説明する。

先ず、フラップ48は、このフラップ48とリアパネル28との間の折込み線に沿い、リアパネル28に向けて折り込まれ、リアパネル28に重ね合わされる。この後、リアパネル28上に前述した内側トレイ14がフラップ48を介して載置される。この際、内側トレイ14はその溝22にフィルタシガレットFをそれぞれ保持している。

[0035] このようにしてリアパネル28上に内側トレイ14が載置されたとき、内側トレイ14のフラップ26とフラップ48は互いに所定の間隔を存して位置付けられる（図9中の2点鎖線参照）。

[0036] この後、リアパネル28及びフラップ48以外のパネル及びフラップの折込み、また、対応するサイドフラップ同士の接着が実施され、内側トレイ14の外側に内側トレイ14を囲む外側ケース10が形成される。この時点で、図1に示されるシガレットパッケージが得られる。

[0037] 消費者は内側トレイ14のヘッド16を指間で挟み、外側ケース10から内側トレイ14を引き出すことができる。この際、内側トレイ14のフラップ26はフラップ48と外側ケース10の後壁（リアパネル28）との間に侵入し、フラップ26の先端がフラップ48とリアパネル28の間の折込み線に到達したとき、内側トレイ14の引き出しは停止される。即ち、フラップ26，48は互いに協働してストッパを形成し、このストッパは内側トレイ14の最大引き出し長さを決定する。

[0038] 上述したシガレットパッケージによれば、外側ケース10から内側トレイ14が引き出されたとき、内側トレイ14からのフィルタシガレットFの取り出しが可能となる。このような

フィルタシガレットFの取り出し方は、通常のヒンジリッド型パッケージでのフィルタシガレットの取り出し方とは大きく相違する。それ故、本実施例のシガレットパッケージは新規且つ独特なパッケージ形態を提供し、消費者の購買意欲を増加させる。

[0039] また、内側トレイ14上の個々のフィルタシガレットFは溝22内に保持されている。それ故、内側トレイ14からフィルタシガレットFが取り出されても、内側トレイ14上に残っているフィルタシガレットFの配列に乱れが生じることもない。

[0040] 更に、内側トレイ14上の全てのフィルタシガレットFが取り出された後、消費者は内側トレイ14の各溝内に新たなフィルタシガレットを補給し、シガレットパッケージを再使用することができる。それ故、本発明のシガレットパッケージは使い捨てにならず、省資源化に大きく貢献する。

[0041] 外側ケース10における開口12の前縁12a及び内側トレイ14の天井面18はそれぞれ波形形状をなす一方、内側トレイ14上のフィルタシガレットFもまた前縁12a及び天井面18に沿って波打つように並ぶウエーブ(波)配列となっている。それ故、消費者が外側ケース10から内側トレイ14を引き出したとき、消費者のみならず周囲の人々は、前縁12a及び天井壁18の波形形状と、この波形形状と同様なフィルタシガレットFのウエーブ配列に大きな感銘を受ける。このような波形形状及びウエーブ配列は、本発明のシガレットパッケージに対する消費者の購買意欲を増進させるうえで大きく役立つ。

[0042] 内側レイ14における底面20の波形形状は円滑ではなく、階段状をなしている。それ故、フィルタシガレットFにおけるシガレットの端面は底面20に良好に密着することができ、端面の変形や、端面からの刻みたばこの脱落が良好に阻止される。この点、内側トレイ14の天井面18に接触するフィルタシガレットFの吸口端、即ち、フィルタの端面はシガレットの端面に比べて機械的な強度が高い。それ故、吸口端が天井面18に接触しても、吸口端が変形されることはない。

[0043] 前述したように内側トレイ14のヘッド16は、図8に示されているように領域15の弾性変形を伴い、下方に押し下げ可能である。それ故、内側トレイ14上のフィルタシガレットFが天井面18と底面20との間に挟み込まれていても、消費者はヘッド16を下方に押し下げることで、内側トレイ14上からフィルタシガレットFを容易に取り出すことが

できる。

[0044] 内側トレイ14の引き出しは制限されているので、外側ケース10から内側トレイ14が完全に引き出されることはなく、内側トレイ14からのフィルタシガレットFの脱落を確実に阻止することができる。

[0045] 本発明は、上述した一実施例に制約されるものではない。例えば内側トレイ14の底面は、天井面18と同様に円滑な波形形状を有していてもよい。また、外側ケース10における開口の前縁12a及び内側トレイ14の天井面18は正弦曲線以外の波形形状や他の形状を有することができる。

請求の範囲

[1] 薄形の直方体形状をなす外側ケースであって、一端に開口を有する、外側ケースと、

前記外側ケース内に前記開口を通じて引き出し可能に収容され、収容位置及び引き出し位置を有する矩形の内側トレイとを備え、

前記内側トレイは更に、

その一端に形成され、前記収容位置にあるときには前記開口から突出し且つ前記内側トレイを引き出すための摘みとして機能するヘッドと、

前記収容位置にあるとき、前記外側ケース内に位置付けられるトレイ面と、

前記トレイ面に形成され、棒形状のシガレット製品を保持する複数の保持座と

を有する、シガレットパッケージ。

[2] 前記保持座は、前記シガレット製品を前記内側トレイの引き出し方向に沿って保持可能であり、前記内側トレイの幅方向に並んで配置されている、請求項1のシガレットパッケージ。

[3] 前記保持座は、前記シガレット製品を個々に受け入れ可能な溝である、請求項2のシガレットパッケージ。

[4] 前記外側ケースの前記開口は、波形形状をなした前縁を有し、

前記内側トレイの前記ヘッドは、前記前縁の波形形状と同様な波形形状の天井面を有する、請求項2のシガレットパッケージ。

[5] 前記内側トレイは、前記トレイ面上の前記シガレット製品を前記前縁の波形形状に沿って波打つように配列させる配列手段を更に含む、請求項4のシガレットパッケージ。

[6] 前記配列手段は、前記内側トレイの他端に形成されたテールを更に含み、このテールは前記ヘッドの前記天井面に対向し且つ前記天井面と同様な波形形状をなす底面を有し、前記トレイ上の前記フィルタシガレットは前記天井面と前記底面との間に挟み込まれている、請求項5のシガレットパッケージ。

[7] 前記天井面は円滑な波形形状を有し、

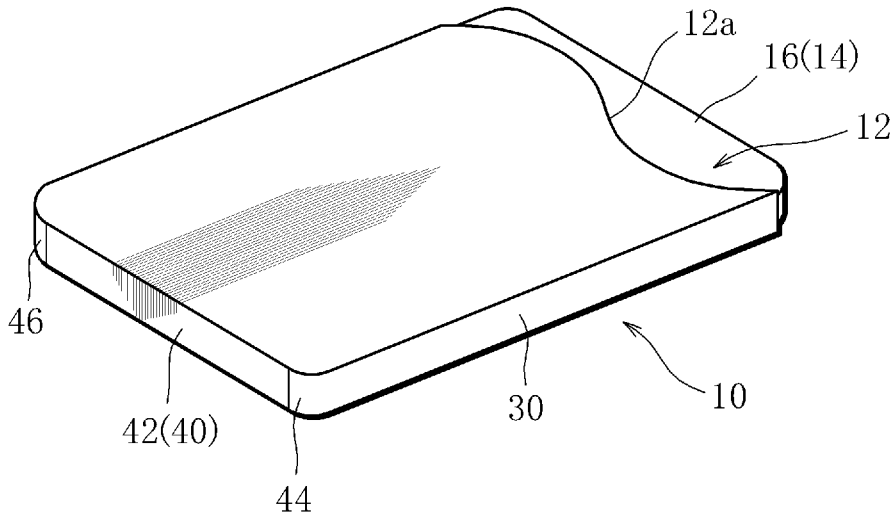
前記底面は、複数の段から形成された波形形状を有する、請求項6のシガレットパ

ッケージ。

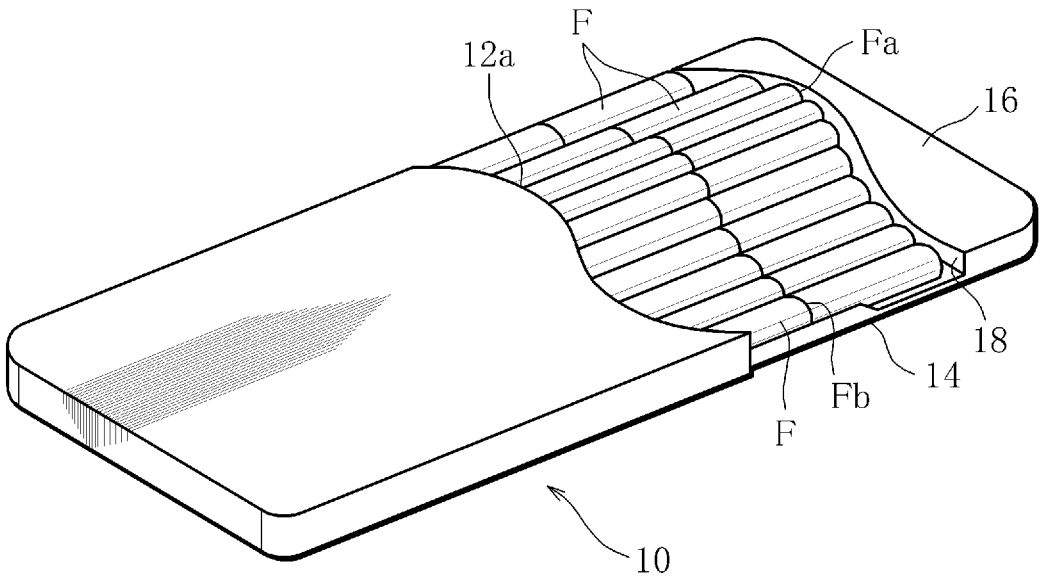
[8] 前記内側レイは合成樹脂から形成され、前記保持座と前記ヘッドとの間の前記トレイ面に弾性変形可能な領域を更に含み、この領域はその弾性変形により前記ヘッドの押し下げを許容する、請求項6のシガレットパッケージ。

[9] 前記内側トレイは前記引き出し位置を決定するストッパを更に含む、請求項2のシガレットパッケージ。

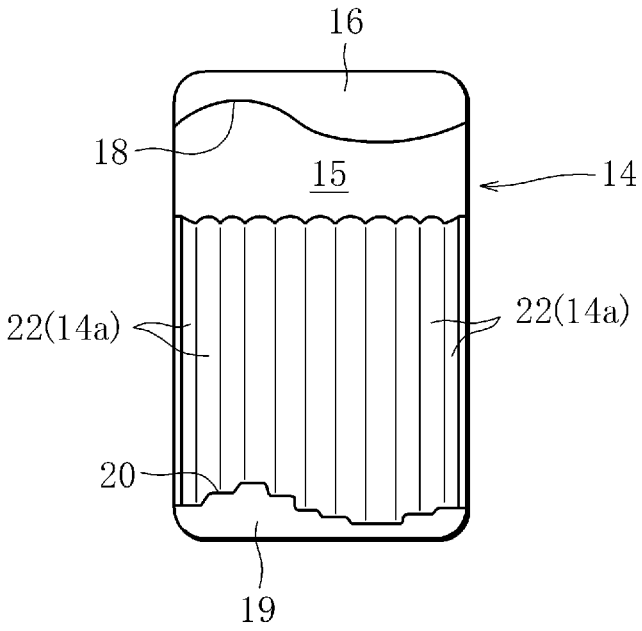
[図1]



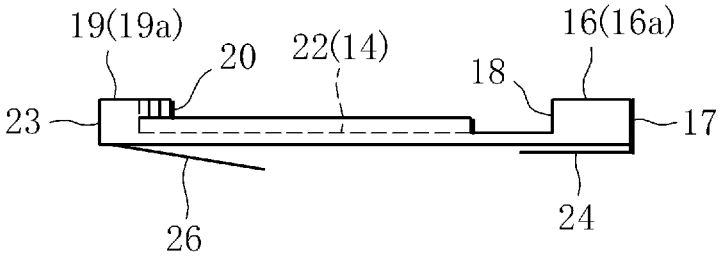
[図2]



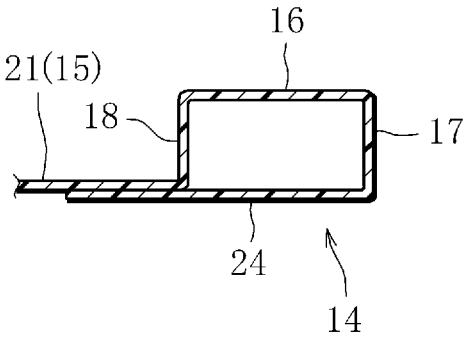
[図3]



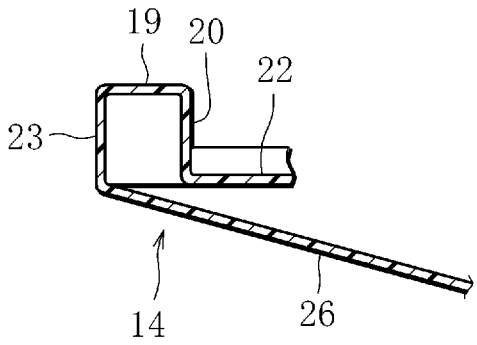
[図4]



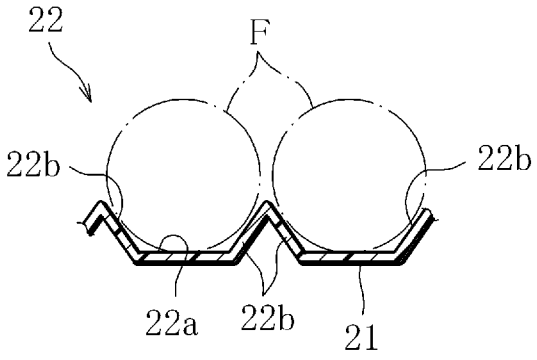
[図5]



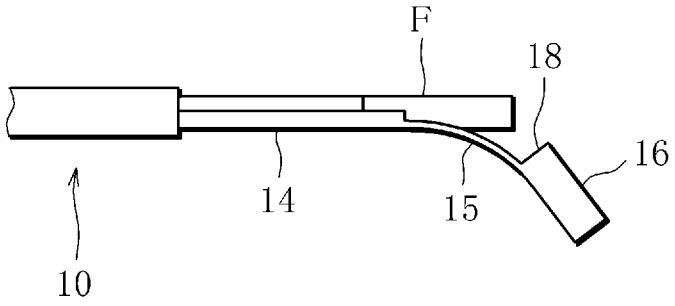
[図6]



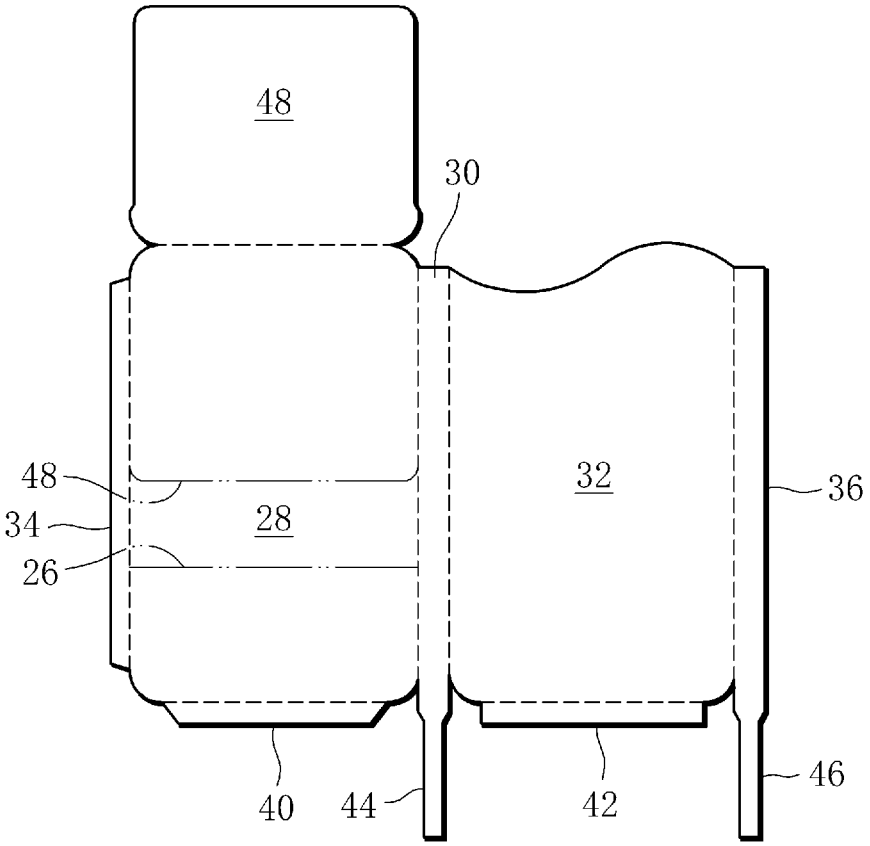
[図7]



[図8]



[図9]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2009/050220

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
B65D85/10(2006.01)i, *A24F15/00*(2006.01)i, *B65D5/49*(2006.01)i, *B65D25/04*(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
B65D85/10, A24F15/00, B65D5/49, B65D25/04

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2009
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2009	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2009

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 114806/1989(Laid-open No. 56520/1991) (Japan Tobacco Inc.), 30 May, 1991 (30.05.91), Full text; all drawings (Family: none)	1-3,9 4-8
Y A	US 5992621 A (Donald F.GRANT), 30 November, 1999 (30.11.99), Full text; all drawings & CA 2203977 A1	1-3,9 4-8

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search 22 January, 2009 (22.01.09)	Date of mailing of the international search report 03 February, 2009 (03.02.09)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office Facsimile No.	Authorized officer Telephone No.

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (April 2007)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2009/050220

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 3-212386 A (Focke & Co., (GmbH. & Co.)), 17 September, 1991 (17.09.91), Page 4, upper left column, line 4 to lower left column, line 19; all drawings & US 5080227 A & EP 421311 A1 & DE 3933455 A & ES 2064581 T & BR 9005008 A & CA 2027044 A1	9
A	JP 2004-515426 A (Ji.De S.p.A.), 27 May, 2004 (27.05.04), Par. No. [0022]; Figs. 5 to 10 & WO 2002/048007 A1 & US 2004/026272 A1 & EP 1349798 B1	4-8
A	US 2021755 A (Fred SPITALNY), 19 November, 1935 (19.11.35), (Family: none)	1-9
A	US 4300675 A (Hans-Ruedi WAGNER), 17 November, 1981 (17.11.81), & EP 15906 A & WO 1979/000551 A1 & CH 626239 A	1-9

国際調査報告

国際出願番号　ＰＣＴ／ＪＰ２００９／０５０２２０

Ａ．　発明の属する分野の分類（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　B65D85/10(2006.01)i, A24F15/00(2006.01)i, B65D5/49(2006.01)i, B65D25/04(2006.01)i

Ｂ．　調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（ＩＰＣ））

Int.Cl.　B65D85/10, A24F15/00, B65D5/49, B65D25/04

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	１９２２－１９９６年
日本国公開実用新案公報	１９７１－２００９年
日本国実用新案登録公報	１９９６－２００９年
日本国登録実用新案公報	１９９４－２００９年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

Ｃ．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求の範囲の番号
Y A	日本国実用新案登録出願 1-114806 号(日本国実用新案登録出願公開 3-56520 号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（日本たばこ産業株式会社）1991.05.30, 全文,全図 (ファミリーなし)	1-3,9 4-8
Y A	US 5992621 A (Donald F. GRANT) 1999.11.30, 全文,全図 & CA 2203977 A1	1-3,9 4-8

☑　Ｃ欄の続きにも文献が列挙されている。　　☐　パテントファミリーに関する別紙を参照。

＊　引用文献のカテゴリー
「Ａ」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「Ｅ」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「Ｌ」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「Ｏ」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「Ｐ」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献
「Ｔ」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「Ｘ」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Ｙ」特に関連のある文献であって、当該文献と他の１以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「＆」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日	国際調査報告の発送日
２２．０１．２００９	０３．０２．２００９

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁（ＩＳＡ／ＪＰ）
郵便番号１００－８９１５
東京都千代田区霞が関三丁目４番３号

特許庁審査官（権限のある職員）　３Ｎ　９０２６
窪田　治彦
電話番号　０３－３５８１－１１０１　内線　３３６１

Ｃ（続き）．　関連すると認められる文献

引用文献のカテゴリー＊	引用文献名　及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求の範囲の番号
Y	JP 3-212386 A (フオツケ・ウント・コンパニー（ゲーエムベーハー・ウント・コンパニー）) 1991.09.17, 第４ページ左上欄第４行-左下欄第19行,全図 & US 5080227 A & EP 421311 A1 & DE 3933455 A & ES 2064581 T & BR 9005008 A & CA 2027044 A1	9
A	JP 2004-515426 A (ジー．デー　ソチエタ　ペル　アツィオニ) 2004.05.27, 【0022】,第5-10図 & WO2002/048007 A1 & US 2004/026272 A1 & EP 1349798 B1	4-8
A	US 2021755 A (Fred SPITALNY) 1935.11.19 (ファミリーなし)	1-9
A	US 4300675 A (Hans-Ruedi WAGNER) 1981.11.17 & EP 15906 A & WO 1979/000551 A1 & CH 626239 A	1-9